

# 自分も他者も大切にできる 子どもを育てるために

～一人ひとりが大切にされ、自尊感情を育む取組～

## 自尊感情とは

長所も短所もひっくるめて自分自身をかけがえのない存在と覚えること

～滋賀県教育委員会「人権教育推進プラン」より～

### 自尊感情が高まると・・・

- こんな姿につながっていくと考えられています。
- 自分と向き合い、自分を大切にできる。
  - 夢や希望を持ち、前向きに生きていこうとする。
  - くじけず、ねばり強く取り組もうとする。
  - 他者の思いに寄り添い、人を大切にできる。
  - 人を信頼し、協力して行動しようとする。

### 自尊感情が損なわれると・・・

- こんな姿につながってしまうと考えられています。
- 「どうせ自分なんて」と自暴自棄になる。
  - 自信がなく、失敗を恐れ、消極的になる。
  - 人とうまく関わることができない。
  - 他者を軽んじ、攻撃することで、自身のプライドを保とうとする。

## Q. なぜ、自尊感情を育むことが重要なのですか。

A. 近年「どうせ自分は…」[無理、やる気がない]と無気力になっていたり、他者とうまく関わる事ができなかつたりする子どもの姿が、目立つようになってきました。

平成28年度「全国学力・学習状況調査」の「生活や学校環境に関する質問」において、「自分には、よいところがあると思う」の問いに、県内小学6年生の21.6%、中学3年生の32.9%が「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」と回答し、自身を否定的に捉えています。また、内閣府による平成25年度「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」でも、日本の青少年の「自分への満足感」が、他国と比較し、際立って低い現状が見られます。

自尊感情は「生まれてきてよかった」「自分にはできることがある」等、自分自身を基本的に価値ある存在とする感情であり、学習意欲の向上や良好な人間関係を築こうとする原動力(学びの礎)となります。自尊感情がベースとなって人権感覚が磨かれていくことにより、自分や他者の大切さを認め、人権を尊重する具体的な態度や行動につながります。また、他者や社会へ繰り返し働きかけることで、レジリエンス(しなやかで折れない心・失敗しても挑戦し続ける心)の伸長につながっていくと考えています。

## Q. 自尊感情とはどのような概念ですか。

- A. 自尊感情には、二つの側面があると考えています。
- 相対的な自尊感情…成功する、達成する、褒められる、認められる等により得られる感情。他者(社会的)からの評価や状況により変動する。
  - 絶対的な自尊感情…あるがままの自分の存在を価値あるものと捉え、認める感情。他者との肯定的・共感的・支持的な関わりにより積み上がる。
- 二つの側面がバランス良く育まれることで、健全な自尊感情が育つと考えられています。

## Q. 自尊感情ばかり重視していると自己中心的な子に育つのではないですか。

- A. 「自尊感情は子どもを褒め、認め、自信をつけさせれば育つ」とする一面的な支援の結果、自身の優位性ばかりを誇示して、他者のそれは認めないという自己中心的な子どもに育ててしまう危険性があります。
- また、いじめ、無視、虐待、叱責等により、自尊感情が損なわれる環境では、自分自身を価値あるものと受け止めることができません。そのため、欠点を隠そうとしたり、優れた部分を誇示したり、他者を軽んじたりして自分を守ろうとすることが、自己中心的な(自己愛的な・プライドの高い)態度として見られてしまうことがあります。
- 自尊感情を正しく理解し、個に合わせた支援をしていくことが重要です。

## Q. 自尊感情を育むには、どのようなことに留意すればよいですか。

- A. 自尊感情は、人と人との関わりの中で育まれます。安心して自分が出せる環境においては、子どもたちは自発的に考え、行動し、試行錯誤を繰り返しながら、仲間と豊かに関わる事ができます。日々の生活において、子どもたちの声・思いに耳を傾けること、そして共感的な関わりで満たされていること。このような環境の中で、「見守られている」「支えられている」「大切にされている」と感じられる居場所と仲間づくりを進めていくことが重要です。
- また、主体的・対話的で深い学びをもたらす日常の授業や、子どもの参画がある各種活動の中で他者と関わり、協働する機会を設けることは、子どもの主体性や多様性、持ち味を育み、自分や他者への理解を深めることにつながります。
- 学校・園・所、家庭、地域が自尊感情の大切さを認識し、連携して育んでいくことが求められています。

## 人と人との関係の中で育まれる自尊感情





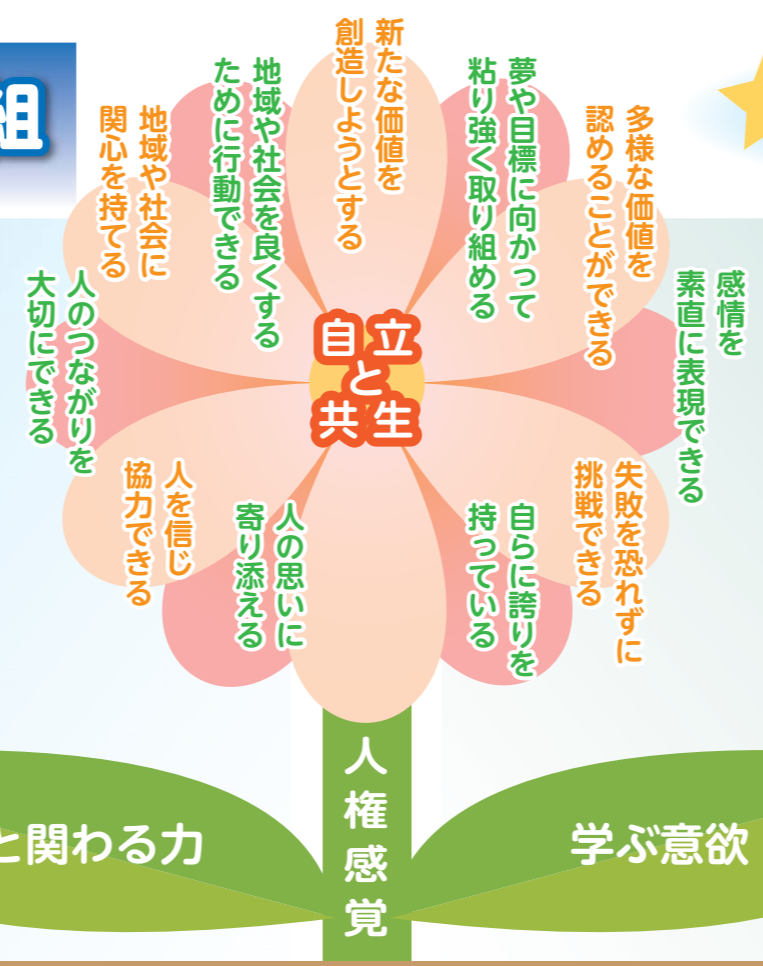
# 学びの礎となる自尊感情を育む取組

# ・人がつながる仕組みづくり ・支持的風土の醸成

ユニバーサルデザインを導入した学び  
学習の見通しを明示



励ましと賞賛のある教室



## 安心

集会活動とおした  
子どもから子どもへの呼びかけ



個の持ち味に気づく機会

## 共感



子ども同士が考え活動する授業づくり

## 承認



## 信頼

## 自主性



みんなで協力してやり遂げる体験

## 主体性

児童会・生徒会による主体的な活動



## あこがれ



つながりづくり・あこがれづくり

中学・高校生による学習支援



地域行事に参加・  
スタッフとして参加

ゲストティーチャーによる  
地域フィールドワーク



## 郷土愛



## 連携



通信による家庭・地域  
との連携強化

### 保育・授業づくり

- 一人ひとりが大切にされる保育、授業  
(承認、賞賛、規律のある学習環境・ユニバーサルデザインのある学び)

- どの子にも出番のある授業づくり  
(聴いてもらえる喜びが感じられる学習・ペア、グループ学習・主体的、対話的で深い学び)

- 子どもが企画、参画する活動の充実  
(話し合い活動の充実・自治的、創造的な係活動・児童生徒会活動、委員会活動等)

- 子どもをつなぐ意識的な取組  
(ソーシャルスキルトレーニング・グループエンカウンター・たてわり活動・異年齢交流等)

### 仲間づくり

### 環境づくり

- 子どもが安心して過ごせる居場所づくり  
(個の持ち味、多様な価値への気づき・互いを認め合う雰囲気づくり)

- 子どもの個性や感性を生かした環境づくり  
(子どもの創造性による教室、廊下掲示)

- 連携体制の確立  
(学区内交流の活性化・研修、地域啓発の充実・福祉、医療等との連携)

- 学校、園、所・家庭・地域・関係機関の協働  
(園、所、小、中、高の深い連携、地域人材の活用・地域行事への参加、参画)

### 地域づくり

## 自尊感情を育む4づくり

自尊感情を共通理解する講演会



## 啓発

小中学校教員による保育園の入り込み体験

## 郷土愛